

取扱説明書

ZETA リアショック用 30mmローダウンアウターキット シリンダータイプ φ46/50mm for KYB SHOWA WP

この度は、ZETA商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みになって、取付作業を行って下さい。

注意事項

取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。
作業内容に不安がある場合は、弊社もしくはサスペンションプロショップにご相談、ご依頼ください。
サスペンションの車体からの取り外し・取り付け、本体の分解・組立て作業は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。
異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。
製品に加工、改造は行わないで下さい。事故や破損の原因となります。
作業時は保護メガネ等を使用し、ケガのないように注意してください。

取付方法

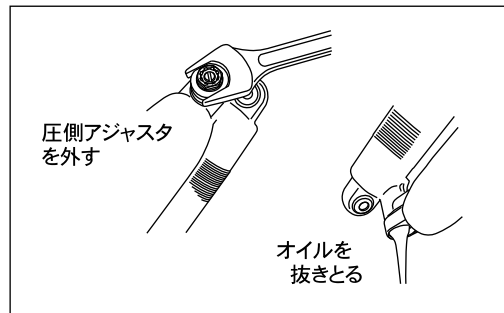
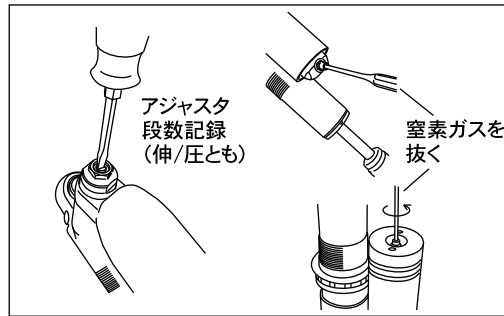
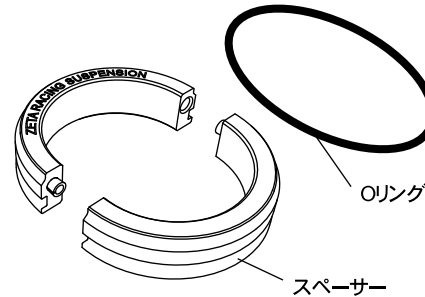
作業手順

- 1) 車両からリアショックを取り外します。スプリング取り付け長を記録し、スプリングを取り外します。
※スプリング取り外しまでの作業手順は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照して下さい。
- 2) 分解前に伸側/圧側アジャスタのクリック数を記録した後、すべてのアジャスタを全開にします。
- 3) 〈KYB/SHOWAのみ〉
サブタンク下側のバルブを押し、窒素ガスを抜きます。
〈WPのみ〉
プラグをゆっくり緩めながら窒素ガスを抜き、プラグを外します。

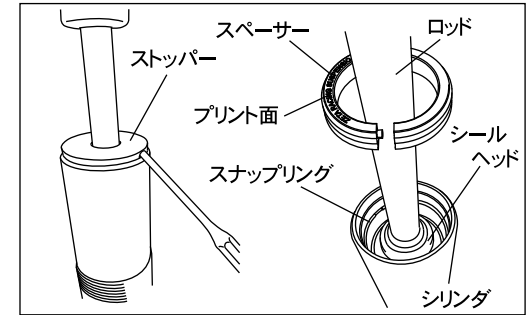
〈以下、KYB/SHOWAのみの作業〉

- 4) スパナ等を使用し圧側アジャスタをゆっくり外します。
※内部に圧力が残っているとオイルが噴出します。
必ず窒素ガスを全て抜いたことを確認し、保護メガネを使用し慎重に作業してください。
- 5) オイルを抜き取ります。

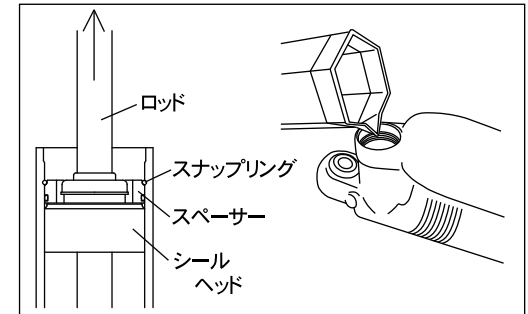
キット内容



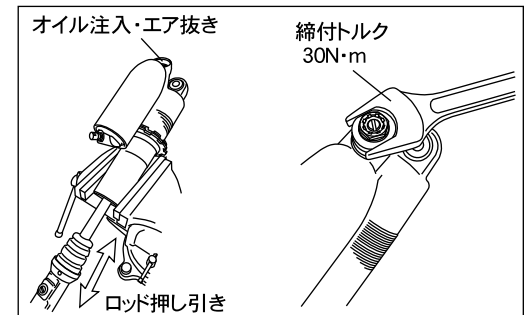
- 6) ピンポンチ等を使用し、ストッパーの切り欠き部をプラスチックハンマーで叩き上げ、ストッパーを外します。
- 7) DRCシールヘッドブッシュ(品番:D59-37-166)等を使用し、シールヘッドを押し下げます。
- 8) スナップリングを外します。
- 9) ロッドを挟み込むようにスペーサー合わせ、スペーサーの溝にOリングを取り付けます。
※図のようにプリント面を外側にすること。
※Oリングにショックオイル、もしくはシリコン系グリスを塗布すること。



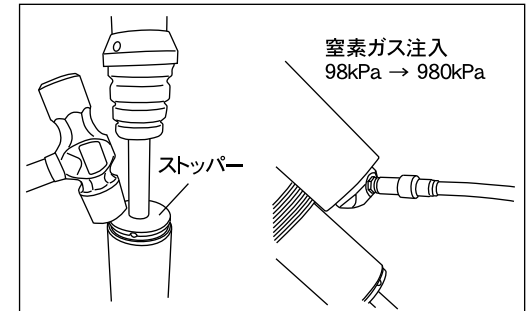
- 10) DRCシールヘッドブッシュ等を使用し、スペーサーをシリンダのスナップリングがはまる溝より奥に押し込みます。
- 11) シリンダの溝にスナップリングを組み付け、スペーサーがスナップリングに当たるまでロッドを引き上げます。
※スナップリングが確実にリング溝にはまっているか確認してください。
確実ににはまっていないとガス封入時や走行時に分解しケガや事故に繋がる可能性があります。
- 12) 圧側アジャスタ穴からショックオイルを注入します。



- 13) ピストンロッドを押し引きしながらオイルを注入します。
- 14) オイルがいっぱいになったら、再度ピストンロッドを押し引きし内部に溜まったエアを押し出します。
- 15) DRC ブリードカップを使用するとスムーズに作業することができます。
DRC ブリードカップ 品番:D59-37-160(KYB)
D59-37-158(SHOWA)
D59-37-159(SHOWA)
- 16) エアが出てこなくなったら、圧側アジャスタを取り付けます(締付トルク30N・m)。

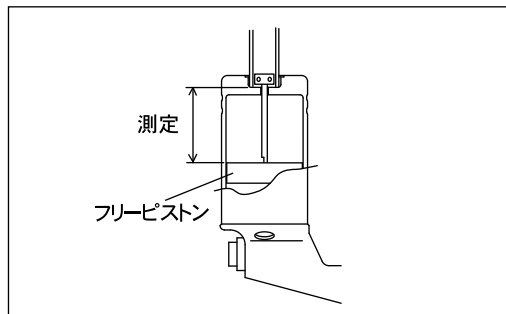


- 17) プラスチックハンマーを使用し、ストッパーを叩きながらはめ込みます。
- 18) サブタンク下部のバルブから窒素ガスを98kPa封入し、オイル漏れ・ガス漏れがないか確認します。
- 19) 異常がなければ980kPaまで窒素ガスを封入します。
- 20) ガスホースを外し、ショック本体の動作を確認します。
ピストンロッドを押し込み、開放した時に確実に伸び切ることを確認してください。

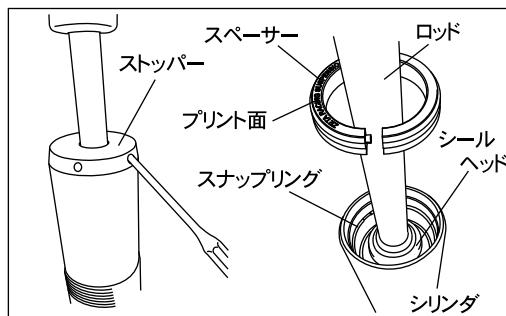


＜以下、WPのみの作業＞

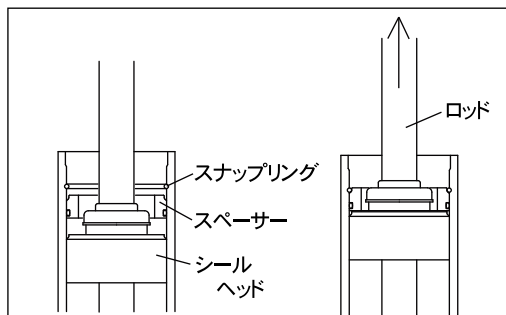
- 21) 3)で外したプラグ穴からノギス等を挿し込み、フリーピストンまでの深さを測定します。



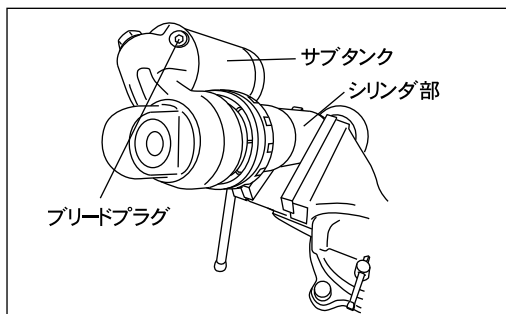
- 22) ピンポンチ等を使用し、ストッパーの切り欠き部をプラスチックハンマーで叩き上げ、ストッパーを外します。
23) DRCシールヘッドプッシュ(品番:D59-37-166)等を使用し、シールヘッドを押し下げます。
24) スナップリングを外します。



- 26) DRCシールヘッドプッシュ等を使用し、スペーサーをシリンダのスナップリングがはまる溝より奥に押し込みます。
27) シリンダの溝にスナップリングを組み付け、スペーサーがスナップリングに当たるまでロッドを引き上げます。
※スナップリングが確実にリング溝にはまっているか確認してください。
確実にはまっていないとガス封入時や走行時に分解しケガや事故に繋がる可能性があります。

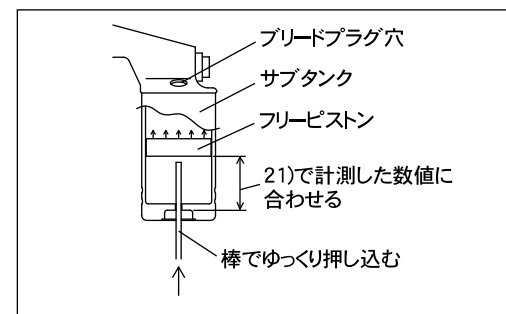


- 28) シリンダ部を掴み、本体をバイスに固定します。
※本体に傷が付かないように、ウエスを挟むか樹脂製のクランプを使用すること。
※シリンダが変形しないように、強い力でクランプしないこと。
位置は内部にシールヘッドがある位置をクランプすること。
※ロッドは必ず伸び切っている状態を維持すること。



- 29) サブタンク上部のブリードプラグを取り外します。
※オイルが噴き出すことがあるので注意して外すこと。

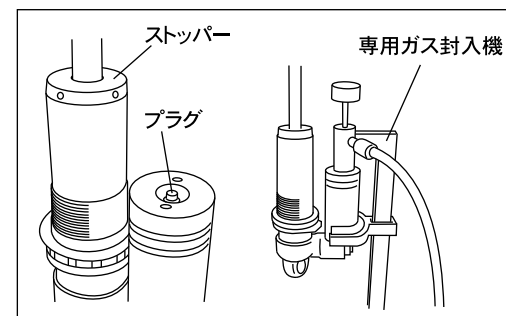
- 30) サブタンク内部のフリーピストンの位置が下がっているため、下部のプラグ穴に直径4mmほどの棒を差し込み、フリーピストンを押し込みながら余分なオイルをブリードプラグ穴から排出します。
※フリーピストンが21)で測定した位置に戻るまでゆっくり押し込みます。
※押し込む棒は先端が鋭利ではない、鉄もしくはアルミ製の棒を使用してください。
※フリーピストンを押し込みすぎると戻すことが困難です。慎重にゆっくり押し込んでください。



- 31) ブリードプラグを取り付けます。
※締付トルク 14N/mm

- 32) プラスチックハンマーを使用し、ストッパーを叩きながらはめ込みます。

- 33) サブタンク下部のプラグを仮締めし、専用の封入機を使用して窒素ガスを100kPa封入します。
※オイル漏れ・ガス漏れがないか確認します。



- 34) 異常がなければ1000kPaまで窒素ガスを封入します。

- 35) 封入機から外し、ショック本体の動作を確認します。
ピストンロッドを押し込み、開放した時に確実に伸び切ることを確認してください。

＜KYB/SHOWA/WPすべて＞

- 36) アジャスタを記録した数値に合わせます。

- 37) スプリングを本体に取り付け、記録した数値に合わせてセットします。

- 38) 本体を車体に取り付けます。

